

平成27年度 第2回鎌ヶ谷市文化財審議会会議録

開催日時 平成28年3月30日(水) 午後3時30分～

開催場所 鎌ヶ谷市役所庁舎6階 第4委員会室

出席委員 下津谷達男委員長、佐藤武雄副委員長、小川浩委員、石神裕之委員、金出ミチル委員

事務局 皆川教育長(挨拶)、犬塚文化・スポーツ課長、三石補佐(事)文化係長、松丸主事、信木主事補

傍聴者 なし

1 開会

2 委員長あいさつ

3 会議録署名人の選出について

会議録署名人に石神委員を指名(名簿順)

会議録については、要旨記録とすることとする。

4 議題

【報告事項】

(1) 国史跡下総小金中野牧跡の追加指定について

事務局より資料に沿って報告した。

[質疑]

委員長: 指定位置の確認及び周辺の土地状況の確認について

事務局: 図面の説明

(2) 平成27年度文化財保護主要事業の進捗状況について

事務局より資料に沿って報告した。

[質疑]

佐藤委員: 一本松遺跡の確認調査状況について

事務局: 縄文時代後期及び古墳時代前期の住居跡を確認した。

委員長: 松戸市の齋藤邸について

事務局: 松戸市が寄贈を受けたものである。未指定であるが詳細調査中である。

金出委員: 元々大きな農家であったものを昭和30年代に大学教授が譲り受けたもの。

茅葺の立派な家屋である。埋蔵文化財の職員が建物の図面の見方を勉強するために行っている。

(3) 下総小金中野牧跡の周知普及事業について

事務局より資料に沿って報告した。

[質疑]

佐藤委員: 事業の人数及び事業実施の方法について

事務局: 参加者は報告のとおり多くの参加を得ている。事業は周知普及実行委員会が市から負担金を受けて実施している。

金出委員: 捕込への見学について。馬つなぎりとしての見学はあるのか。

事務局: 県内の近隣市やサークル団体などが見学に来ている。

金出委員: 外に向かって更なるPRをしていただきたい。

(4) 国史跡下総小金中野牧跡整備基本設計について

事務局より資料に沿って報告した。

[質疑]

委員長: 基本設計の作成期間について

事務局: 当初予定から、庁内意思決定を取った上で作成期間の変更を行っている。

佐藤委員: 会議の様子について報告

事務局: 本会議実施時点での整備基本設計案について説明した。

委員長: 来場者の乗り物についての配慮を。整備の着手について。

事務局: 大型車の駐車場確保は難しい。整備は設計を整え早めに着手したい。

委員長：工事の発注方法は難しい。整備に際しては工事の連続性についてはどこでも苦慮するところである。

金出委員：土手法面の保護について。

事務局：基本設計では園路設定と登りにくい植栽等で対応する方向を示した。

金出委員：生きた馬は(捕込に)入れられるか。

事務局：対応可能である。周知普及事業では実施済み。

金出委員：資料館と捕込、駅からのルート動線の工夫とマップの整備も検討いただきたい。

小川委員：野田市では実施例がある。鎌ヶ谷市でも検討いただきたい。

事務局：ポスター掲示等は、他の事業でご協力いただいている。

委員長：看板案内の仕方は年数が経つとわかりにくくなる、恒常的な案内方法の継続は難しい。

小川委員：各地で工夫をしている。参考にさせていただきたい。

(5) 整備を前提とした発掘調査について

事務局より資料に沿って報告した。

[質疑]

小川委員：土手の断面の見せ方についてどのような方法を取るのか。

事務局：方法については検討中である。

石神委員：資料に載っている方法等があると思うので検討いただきたい。

《皆川教育長到着》小川委員の教育委員会表彰状授与及び教育長あいさつ

(6) 市内建造物調査について

事務局より資料に沿って報告。

[質疑]

金出委員：(調査報告)

近代を主として市内の建造物の視察をした(佐津間渋谷家・鎌ヶ谷長濱家・道野辺皆川家)。

みんな同じ間取りであるのが興味深い(田の字型を原形)。これは千葉県北部にみられる系統。

比較をしていくと、編年ができる。その他の見学についての説明をいただく。

見学については所有者との信頼関係を築きながら行っていきたい。

佐藤委員：建造物調査への要望：建造物側面、民俗学側面、調査は双方の視点から進めること。

金出委員：松戸市の齋藤家建物との比較について

下総から茨城南側、利根川沿いの典型である。

野田市の花野井家は時代が古い、これらの間取り原型にはなっている。

渋谷家は建物以外にもいろいろな側面で興味深い。

(7) その他

・おしゃらく踊りの継承について

事務局：バックアップしていこうという市民の動きが出てきた。

デジタル機器で音源の録音を行った。

今後はレクチャービデオを作成していきたい。

小川委員：昔、音を録ったことはある。三味線は難しい。ぜひ継続してほしい。

事務局：おしゃらく踊りの保存会が夢まるふあんの助成を受けて道具の修理を行ったことを報告

一本松遺跡の調査報告写真について補足説明

閉会

【会議終了】

以上会議の経過を記載し、相違ないことを証する。

平成28年 8 月 2 日

署名人 石神 裕之